

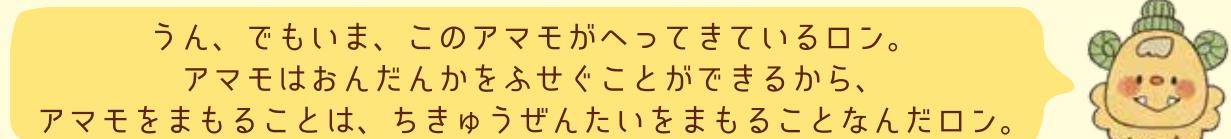
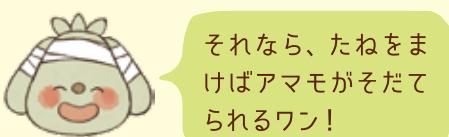
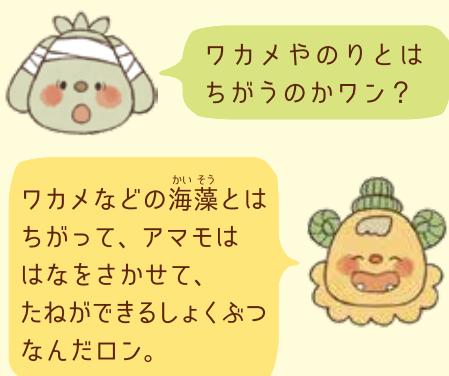
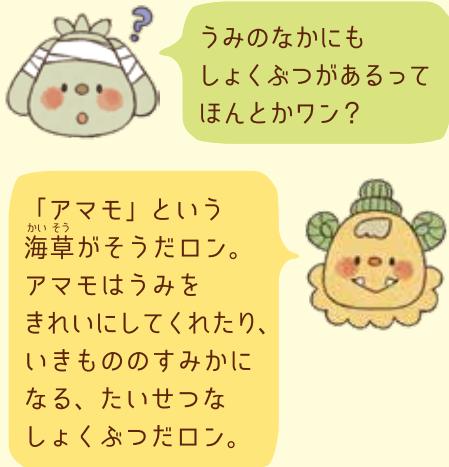


もりのふしき

うみのなかにももりがあるの?

イラスト／たけだあおい

このコーナーでは、環境問題・自然のことに関する言葉をボノロンといっしょに学んでいきます。
ぜひお子さまとの対話のきっかけにしてください。



おうちの方へ アマモは胞子で増える藻類ではなく、海中で花を咲かせ種子を形成する海産種子植物です。アマモによって波がおさえられ、魚や貝、エビやカニが卵を産み育てるのにちょうどよいことからアマモ場は「海のゆりかご」とも呼ばれています。さらに、光合成により海中の二酸化炭素を吸収し、酸素を排出するため、海から地球温暖化を防ぐ「ブルーカーボン」としても注目されています。近年、アマモが生息する浅瀬で埋め立てが進行するなどの理由から生息域が減少。「セブンの海の森」活動では、海の生きものの調査を実施しているほか、海岸清掃・アマモ花枝採取や種まきなどを通じて、アマモ場の再生を目指しています。

【参考】水産庁サイト 【監修】セブン・イレブン記念財団 林 剛広

